令和５年度　第２回練馬区立美術館運営協議会次第

日時：令和６年３月 27 日（水）　午後２時
場所：サンライフ練馬　研修室

（審議事項）
１　令和６年度事業計画（案）
　（１）収支予算
　（２）展覧会事業
　（３）教育普及事業

（報告事項）
２　令和５年度事業報告（中間報告）
　（１）展覧会事業
　（２）美術作品の収集事業（再掲）
　（３）広報活動と反響

３　その他

令和５年度

第２回　練馬区立美術館運営協議会資料

令和６年３月

令和５年度第２回練馬区立美術館運営協議会資料　目次

練馬区立美術館運営協議会委員名簿　1
練馬区立美術館運営協議会条例　3

１　令和６年度 事業計画（案）
（１）収支予算　5
（２）展覧会事業　6
①「三島喜美代－未来への記憶」展　7
②「平田晃久－人間の波打ちぎわ」展　8
③「追悼　野見山暁治」展（仮称）　9
④「トーク・トーク 40 年のコレクションと展覧会」（仮称）　10
（３）教育普及事業　11

２　令和５年度事業報告（中間報告）
（１）展覧会事業　13
（２）美術作品の収集事業（再掲）　15
（３）広報活動と反響　16

第19期　練馬区立美術館運営協議会委員名簿

	氏　名	役　　職
学識経験者	髙橋（タカハシ）　幸次（コウジ）	元日本大学芸術学部 教授
	伊豆井（イズイ）　秀一（ヒデカズ）	元埼玉県立近代美術館　主席学芸主幹
	佐藤（サトウ）　康宏（ヤスヒロ）	東京大学名誉教授
	島田（シマダ）　紀夫（ノリオ）	実践女子大学名誉教授
	内藤（ナイトウ）　正人（マサト）	慶応義塾大学教授
	馬渕（マブチ）　明子（アキコ）	日本女子大学名誉教授
練馬区議会議員	つじ　誠心（セイシン）	区議会議員
	石黒（イシグロ）　たつお	区議会議員
	石森（イシモリ）　愛（アイ）	区議会議員
	小松（コマツ）　あゆみ	区議会議員
公募区民	須藤（スドウ）　麻世（アサヨ）	公募区民
	畑（ハタ）　智江子（チエコ）	公募区民
	石原（イシハラ）　秀男（ヒデオ）	公募区民
美術団体関係者	吉田（ヨシダ）　巳蔵（ミゾウ）	練馬・文化の会代表
	島田（シマダ）　紘一呂（コウイチロウ）	練馬区美術家協会会長
学校教育関係者	小室（コムロ）　賢一（ケンイチ）	区立中学校校長
	宮崎（ミヤザキ）　晴美（ハルミ）	区立小学校校長

練馬区立美術館運営協議会条例

昭和60年10月８日

条例第45号

（設置）

第１条　練馬区立美術館（以下「美術館」という。）の運営方針および事業計画を協議するため、練馬区立美術館運営協議会（以下「協議会」という。）を置く。

（所掌事項）

第２条　協議会は、区長の諮問に応じてつぎに掲げる事項について審議し、答申する。

(1)　美術館の運営方針に関すること。

(2)　美術館の事業計画に関すること。

(3)　前２号に掲げるもののほか、区長が必要と認める事項

２　協議会は、前項各号に掲げる事項について、区長に意見を述べることができる。

（定数）

第３条　協議会は、委員19人以内をもって組織する。

（委員）

第４条　委員は、つぎの各号に定めるところにより、区長が委嘱する。

(1)　学識経験者　８人以内

(2)　練馬区議会議員　４人以内

(3)　区民　３人以内

(4)　美術団体関係者　２人以内

(5)　学校教育関係者　２人以内

２　前項第３号に規定する区民は、公募により選任するものとする。

（任期）

第５条　委員の任期は、２年とする。ただし、委員に欠員が生じた場合における補充委員の任期は、前任者の残任期間とする。

２　委員は、再任されることができる。

（会長および副会長）

第６条　協議会に会長および副会長を各１人置く。

２　会長および副会長は、委員が互選する。

３　会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

４　副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

（会議）

第７条　協議会は、会長が招集する。

２　協議会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。

３　会議の議長は、会長が務める。

４　協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

５　会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、意見を聴くこ

とができる。

（部会）

第８条　協議会は、第２条第１項に規定する事項について調査検討を行うため、部会を置くことができる。

２　部会は、会長の指名する委員をもって組織する。

３　部会は、協議会の求めがあったときは、必要な事項を報告しなければならない。

（庶務）

第９条　協議会の庶務は、地域文化部において処理する。

（委任）

第10条　この条例の施行について必要な事項は、練馬区規則で定める。

付　則

この条例は、公布の日から施行する。

付　則（平成23年12月条例第53号）

この条例は、平成24年４月１日から施行する。

付　則（平成26年12月条例第49号）

この条例は、平成27年４月１日から施行する。

1　令和6年度 事業計画（案）

（1）収支予算

①　指定管理者収支予算

（単位：千円）

経費種別	支出	施設管理費	事業費	人件費	収入	指定管理業務費	利用料金・物販等	その他
人件費	87,226	0	0	87,226	87,226	87,226	0	0
美術館維持経費	91,433	91,443	0	0	91,433	90,680	753	0
展覧会事業費	111,342	0	111,342	0	111,342	65,109	44,836	1,397
教育普及事業費	3,204	0	3,204	0	3,204	3,101	103	0
収蔵品移転準備費	39,216	0	39,216	0	39,216	39,216	0	0
練馬区立美術館維持運営費　計	332,421	91,443	153,762	87,226	332,421	285,332	45,692	1,397

②　区直接執行予算（美術館維持運営費・美術館再整備事業経費）

項目	支出額
美術館運営協議会委員報酬	447
資料収集委員会委員等謝礼	1, 130
再整備実施設計委託料等	96, 124
消耗品費および印刷費	54
区執行額計	97, 755

【参考】区直接執行予算（美術の森緑地維持管理費）

項目	支出額
光熱水費	186
修繕料	458
消耗品費	32
樹木せん定料	1, 073
維持管理等委託料	3, 890
維持補修費	1, 412
区執行額計	7, 051

（2）展覧会事業

令和6年度 展覧会等事業日程（案）

会期	展覧会名	展示室		担当
		2階	3階	
4月29日 ｜ 5月6日 ＜7日間＞	【無料】 第70回練馬区美術家協会展	―	○	
5月19日 ｜ 7月7日 ＜43日間＞	【有料】 「三島喜美代　―未来への記憶」展	○	○	新井
7月28日 ｜ 9月23日 ＜50日間＞	【有料】 「平田晃久　―人間の波打ちぎわ」展	○	○	伊東 ・ 小野
10月6日 ｜ 12月25日 ＜69日間＞	【有料】 「追悼　野見山暁治」展（仮称）	○	―	木下
2月13日 ｜ 2月18日 ＜5日間＞	【無料】 第56回練馬区民美術展（前期）	○	―	
2月23日 ｜ 2月28日 ＜5日間＞	【無料】 第56回練馬区民美術展（後期）	○	―	
3月7日 ｜ 3月30日 ＜21日間＞	【無料】 「トーク・トーク　40年のコレクションと展覧会」（仮称）	○	―	加藤 ・ 眞子 ・ 木下

「三島喜美代―未来への記憶」展　開催要項

1　開催趣旨　　新聞やチラシなどの印刷物を陶を用いて立体化するユニークな作品により、国際的にも高く評価されている三島喜美代（1932-）の個展を開催します。

三島は、1960 年代には印刷物などをコラージュした油彩画で注目され、70 年頃からは一貫して、シルクスクリーンで新聞やチラシなどの印刷物の文字を陶に転写して焼成する立体作品に取り組んできました。そこには情報洪水の中で埋没する不安感や恐怖感が表現されています。また、情報からゴミへと問題意識を移していくと、陶による空き缶を模した作品やゴミによるオブジェに取り組み、近年は産業廃棄物を取り込んだ制作も行っています。

本展は、70 年にわたる三島の創作の軌跡を概観し、その作品世界の魅力と実像に迫ろうとするものです。情報化社会や大量消費社会へ厳しい視線を投げかけつつも、情報やゴミを異化作用を通して造形表現へと転化させた三島作品は、社会の現実を見つめ、日々の暮らしの中から遊び心をもって生み出されてきました。初期の絵画から多様な陶による作品を経て、環境に配慮した作品までの主要作品が並ぶなか、本展はハイライトとして三島の代表作であり最大規模のインスタレーション作品《20 世紀の記憶》を展示します。床に大量の耐火レンガ・ブロックをぎっしりと敷き詰め、その表面に 20 世紀の 100 年間から抜き出した新聞記事を転写したこの作品は、前世紀の記憶の断片が視覚化されるとともに、時代に向き合った三島自身の記憶が刻まれているように思われます。三島が作品に刻印した 20 世紀の記憶を、来るべき未来への記憶として改めて受け止めていただければ幸いです。

2　会　　期　　令和６年５月 19 日(日)～７月７日(日)

3　主　　催　　練馬区立美術館（公益財団法人練馬区文化振興協会）

4　内　　容　　油彩画、コラージュ、陶の立体作品、インスタレーションなど　約 90 点

5　図　　録　　制作

6　観 覧 料　　1,000円

7　イベント　　講演会、スライドトーク、ワークショップ、鑑賞プログラムを開催

8　観覧者見込　　17,200人(400人／日)

9　担　　当　　学芸員　新井晃

「平田晃久―人間の波打ちぎわ」展　開催要項

1　開催趣旨　　建築家・平田晃久の建築世界を紹介します。「建築とは＜からまりしろ＞をつくることである」というコンセプトは、平田の建築に一貫しています。平田の造語である＜からまりしろ＞とは、はっきりと形作られる空間領域とは異なり、「ふわふわとした隙間の錯綜」、つまりはあらゆる物質の傍らとも言える領域の重なりを指しています。それは人間世界に限ったことではなく、更なる広がりを持ち、植物、動物なども含んだ広義での生命体との共有可能性を探る試みでもあるのです。

平田のコンセプトが形となった公共建築としては、2022 年に日本建築学会賞を受賞した「太田市美術館・図書館」（2017 年）が知られています。また複数の住居や商業施設なども手掛け、平田の哲学的理論と自然や生命への憧憬が反映された独創性あふれる空間を生み出しています。

このたび、これらの代表的な建築作品群に、練馬区立美術館も新しく加わることとなりました。新しく生まれ変わる美術館は、図書館と融合する文化複合施設として新たにスタートします。その建築コンセプトは「21 世紀の富士塚／アートの雲／本の山」。練馬に古くから存在する「富士塚」をテーマに、「美術と本」を街や人々とつなぐ場として構想されました。約 40 年の歩みを継承しつつも、このコンセプトのもと新しい局面を迎えることとなった新しい練馬区立美術館をはじめ、過去の平田建築、現在進行中のプロジェクト、そして未来への展望を俯瞰します。

2　会　　期　　令和６年７月 28 日(日)～９月 23 日(月・祝)

3　主　　催　　練馬区立美術館（公益財団法人練馬区文化振興協会）

4　後　　援　　一般社団法人日本建築学会、公益社団法人日本建築家協会（予定）

5　内　　容　　インスタレーション、模型、スケッチほか　約100点

6　図　　録　　制作（図録兼書籍）

7　観 覧 料　　1,000円

8　イベント　　講演会、ギャラリートーク、ワークショップなどを開催

9　観覧者見込　22,500人(450人／日)

10　担　　当　　美術館長　伊東正伸、学芸員　小野寛子

「追悼　野見山暁治」展（仮称）　開催要項

1　開催趣旨　　2023 年 6 月に逝去した練馬区ゆかりの画家・野見山暁治(1920-2023)の業績を、当館のコレクションを中心に振り返る展覧会を開催します。

福岡県の炭坑経営者の家庭に育った野見山は、東京美術学校を繰り上げ卒業して満州に出征しました。終戦後、故郷の炭坑や骸骨などの具象的なイメージを描く時期を経て、フランスに留学。在仏中に安井賞を受賞し、その後、徐々に抽象的な表現へと変化します。帰国後、しばらくして練馬区にアトリエを構え、福岡県糸島市とともに制作の拠点としました。また野見山は、母校の東京藝術大学教授として学生の指導と入試改革に力を注ぐとともに、自身の戦争体験から、戦没画学生の慰霊美術館である無言館の設立にも尽力しました。『四百字のデッサン』や雑誌連載「アトリエ日記」など文筆の仕事でも知られています。

当館では開館準備中より野見山作品の収集を開始し、1930 年代から 2000 年代までにいたる作品を収蔵しています。本展では、美術学校から留学までの前期と帰国後から晩年までの後期に分けて展観し、具象と抽象のあわいを色彩豊かに探求した野見山の画業の軌跡を辿ります。併せて、野見山のインタビュー映像やアトリエ内部の記録等でアトリエでの野見山の日々の暮らしや制作の在り様を紹介します。

絶筆作品を含む油彩画や版画、ドローイングおよび関連資料等、約 70 点を通じて野見山の芸術活動の一端をご覧いただきます。

2　会　　期　　令和６年 10 月６日(日)～12 月 25 日(水)

3　主　　催　　練馬区立美術館（公益財団法人練馬区文化振興協会）

4　内　　容　　油彩画、版画、ドローイング、映像ほか　約 70 点

5　図　　録　　制作

6　観 覧 料　　500円

7　イベント　　練馬区のアトリエへの訪問、ギャラリートーク、ワークショップ等を開催
託児サービスを実施予定

8　観覧者見込　　13,800人(200人／日)

9　担　　当　　学芸員　木下紗耶子

「トーク・トーク　40 年のコレクションと展覧会」（仮称）　開催要項

1　開催趣旨

練馬区立美術館は 1985 年 10 月に開館しました。2025 年、40 周年を迎えます。これを記念し、美術館ゆかりのアーティストや新旧の学芸員等によるトークとミニコンサートからなる連続イベントを開催します。

当館が 40 年の間に開催した展覧会は 200 回以上（所蔵品展含む）、当初 1 点のみであった所蔵品は 7,000 点（寄託含む）あまりとなりました。美術館の重要な役割であるコレクションの形成と展覧会企画の背景には、開館前から現在まで、内外関係者による様々な対話の積み重ねがあります。連続トークでは、当館の歴史を紡いできた関係者同士が、準備室時代の思い出から、初期の展覧会の裏話、コレクション形成の軸となった作家作品や、近年話題となった展覧会まで、コレクションおよび展覧会について振り返ります。また同時に未来の美術館についてもトークを展開していきます。

会場の２階展示室では、第 1 号の収蔵作品から、近年話題となった展覧会の出品作まで、トークに合わせた 20 点程度の所蔵品や資料展示も行います。

2　会　　期　　令和７年３月７日（金）～３月 30 日（日）

3　主　　催　　練馬区立美術館（公益財団法人練馬区文化振興協会）

4　内　　容　　イベント（６回程度）、トーク内容に関わる所蔵品展示約 20 点

5　図　　録　　なし

6　観 覧 料　　無料

7　トーク参加者・展示観覧者見込　　2,100 人

8　担　　当　　学芸員　加藤陽介、木下紗耶子、眞子みほ

（3）教育普及事業

令和６年度　教育普及事業計画（案）

令和6年2月29日現在

館内事業

Ⅰ）展覧会関連　（各展覧会を楽しむ）

①　関連ワークショップ・講座

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員
1	「三島喜美代−未来への記憶」展関連 実技講座	6月15日（土）	1	内容により 設定	未定
2	「平田晃久−人間の波打ちぎわ」展関連 実技講座	未定	1	内容により 設定	未定
3	「追悼　野見山暁治」展（仮称）関連実技講座	未定	1	内容により 設定	未定

②　ギャラリートーク・スライドトーク

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員
1	「三島喜美代−未来への記憶」展関連 ⑴館長トーク　⑵ギャラリートーク	⑴5月25日（土）・6月30日（日） ⑵6月5日（水）・6月21（金）	4	自由参加 当日先着順	―
2	「平田晃久−人間の波打ちぎわ」展関連 ギャラリートークまたはスライドトーク	未定	2	自由参加 または抽選	―
3	「追悼　野見山暁治」展（仮称）関連 ギャラリートークまたはスライドトーク	未定	2	自由参加 または抽選	―

③　鑑賞プログラム

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員
1	「三島喜美代−未来への記憶」展関連 あかちゃんと家族の鑑賞会	5月26日（日）【A】【B】	2	0～2歳の 赤ちゃんと その家族	各回 10名
2	「三島喜美代−未来への記憶」展関連 トコトコ美術館vol.49　テーマ：未定	6月8日（土）【A】【B】 6月9日（日）【C】【D】	4	3歳～6歳 ＋保護者	各回 5組
3	「平田晃久−人間の波打ちぎわ」展関連 拡大！美術館vol.7　テーマ：未定	未定	2	小学生	各回 8名
4	「追悼　野見山暁治」展（仮称）関連 あかちゃんと家族の鑑賞会	未定	2	0～2歳の 赤ちゃんと その家族	各回 10名
5	「追悼　野見山暁治」展（仮称）関連 トコトコ美術館vol.50　テーマ：未定	未定	4	3歳～6歳 ＋保護者	各回 5組
6	「追悼　野見山暁治」展（仮称）関連 拡大！美術館vol.8　テーマ：未定	未定	2	小学生	各回 8名

④　講演会など

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員
1	「三島喜美代−未来への記憶」展関連講演会 講師：建畠哲（埼玉県立近代美術館館長・草間彌生美術館館長）	6月1日（土）	1	中学生以上	70名
2	「平田晃久−人間の波打ちぎわ」展関連講演会	未定	1	中学生以上	40～ 50名
3	「追悼　野見山暁治」展（仮称）関連講演会	未定	2	中学生以上	40～ 50名
4	「トーク・トーク　40年のコレクションと展覧会」（仮称） 関連	未定	6	中学生以上	40～ 50名

⑤　ミュージアムコンサート・ライブパフォーマンス等

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員
1	展覧会関連 ミュージアムコンサート・ライブパフォーマンス等	未定	2	中学生以上	40～ 50名

Ⅱ）ネリビラボ（自分の好きな材料で好きなものを作る実験室）

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員
1	ネリビラボ	未定	1	小中学生	各15名

Ⅲ）施設等紹介事業（施設や所蔵品から美術館を知るプログラム ）

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員
1	美術館をつかまえる!?館内探検とフロッタージュ	未定	4	5歳～ 小学2年生	各回 10名
2	所蔵品カードであそぼう！	未定	2	小学生～ 大人	各回 16名

Ⅳ）その他

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員
1	「アートdeねりまち」 美術館の視点で練馬のまちを楽しむ事業。展覧会に合わせたまちあるきワークショップを開催する。	未定	3	各事業で異なる	各事業で異なる
2	「アートマルシェ」 美術館ロビーや美術の森緑地を使ったワークショップ等を開催する。	未定	1	各事業で異なる	各事業で異なる

学校関連事業

Ⅰ）スクールプログラム　パンフレットを作成し各学校に配布する。

① 団体鑑賞　美術館担当者がマナーの説明や展示解説を行い鑑賞のお手伝いをする。
② 施設見学　各学校の学習目的に合わせて館内（バックヤードを含む）を案内し、施設を紹介する。
③ 職場体験・訪問　受付や事務、監視、学芸などいくつかの仕事を体験させ、美術館全体の役割を伝える。
④ 出張プログラム　担当者が学校へ赴きコレクションや開催中の展覧会に関連した授業のお手伝いをする。

Ⅱ）ティーチャーズディ

当館及び当館主催の展覧会を、授業等で活用していただくために、区内の小中高等学校の先生を対象とした展覧会鑑賞日を設ける。
各回ともに展示担当学芸員(または教育普及担当)による展示解説を30分程度行い、その後は自由鑑賞とする。
令和6年度は3回開催する。

	展　覧　会　名
1	「三島喜美代−未来への記憶」展
2	「平田晃久−人間の波打ちぎわ」展
3	「追悼　野見山暁治」展（仮称）

2 令和5年度 事業報告（中間）

（1）展覧会事業

令和5年度 展覧会事業日程および観覧者数

（ア） 企画展

開催期間	展覧会	開催日数	観覧者目標（1日当り）	観覧者実数（1日当り）	目標比（%）
4月29日（土・祝）～6月18日（日）	生誕120年 大沢昌助展	44	11,440	4,181	36.5%
			(260)	(95)	
9月10日（日）～11月5日（日）	宇川直宏展 FINAL MEDIA THERAPIST @DOMMUNE	49	19,600	6,432	32.8%
			(400)	(131)	
3月16日（土）～4月21日（日）	生誕150年 池上秀畝展 －高精細画人－	32	9,600	9,600	100.0%
			(300)	(300)（見込）	
	合 計	125	40,640	20,213	49.7%
			(325)	(162)（見込）	
	前年度	208	71,365	47,561	前年度比
			(343)	(229)	42.5%

（イ） コレクション展

開催期間	展覧会	開催日数	観覧者目標（1日当り）	観覧者実数（1日当り）	目標比（%）
7月2日（日）～8月25日（金）	練馬区立美術館コレクション+ 植物と歩く	47	9,400	11,942	127.0%
			(200)	(254)	
11月17日（金）～2月25日（日）	生誕120年 古賀忠雄展 塑造（像）の楽しみ	82	16,400	10,114	61.7%
			(200)	(123)	
	合 計	129	25,800	22,056	85.5%
			(200)	(171)	
	前年度	55	11,000	3,232	前年度比
			(200)	(59)	682.4%

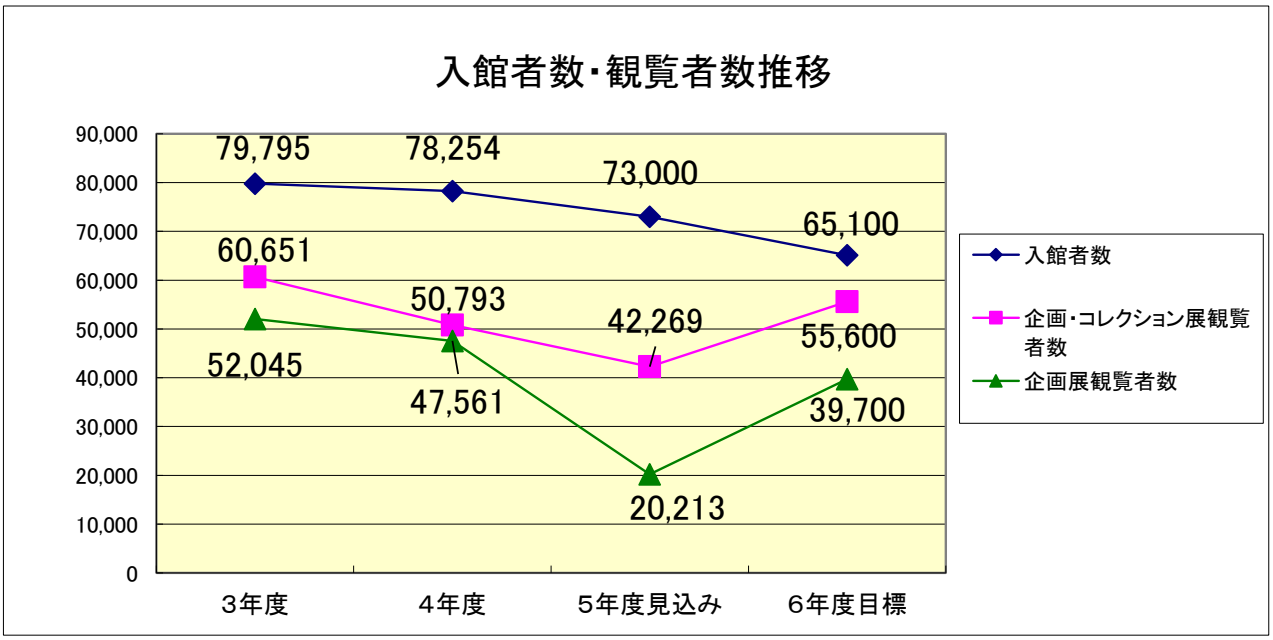
	4年度	5年度	前年度比
企画展・コレクション展観覧者数比較	50,793	42,269（見込）	83.2%

（ウ） 各種展覧会

開 催 期 間	展 覧 会	開催日数	観覧者実数（1日当り）	
11月17日（金）～11月26日（日）	第69回練馬区美術家協会展	9	1,437 (160)	
1月13日（土）～1月17日（水）	練馬区中学校生徒作品展	4	3,308 (827)	
1月20日（土）～1月25日（木）	練馬区小学校連合図工展	5	6,765 (1,353)	
1月27日（土）～1月28日（日）	練馬区小中学校連合書きぞめ展	2	10,816 (5,408)	
2月3日（土）～2月12日（月）	第55回練馬区民美術展	9	2,531 (281)	
合 計		29	24,857 (857)	前年度比 99.9%
前年度		28	24,888 (889)	

（エ）入館者数

入館者数比較	4年度	5年度	前年度比
	78,254	73,000（見込）	93.3%



(2)美術作品の収集事業

令和4年度　美術作品の収蔵状況

（令和5年3月31日現在）

年度	日本画		洋画		版画		工芸		書		彫刻・立体		その他		計		合計
	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	
S59	6		9	1			1	2							16	3	19
60	1	1	5	1		1				1					6	4	10
61		7	14	221	14	28								317	28	573	601
62	3	1	32	16	9	1							1	1	45	19	64
63	2	1	15	1	12										29	2	31
H1	2		5	48											7	48	55
2	4	1	19	29	4	1									27	31	58
3	2	1	14	13											16	14	30
4	2	1	12	10	18	9									32	20	52
5	2		1	2											3	2	5
6	1	1	15	7		1					1				17	9	26
7	2	4	4	3		1						1			6	9	15
8	1	2	2	9	5	1									8	12	20
9			12	2	1	46									13	48	61
10	3	4	12	21											15	25	40
11		4	12	5		134									12	143	155
12		8		11											0	19	19
13				13											0	13	13
14		29		13											0	42	42
15		1	6	8	12	77									18	86	104
16		65		6											0	71	71
17		6		20											0	26	26
18		30		121		97								8	0	256	256
19		17		40				5				7		7	0	76	76
20		8		31		21									0	60	60
21		8		44		98						13			0	163	163
22		11		168		9								3		191	191
23		8		13								1		123		145	145
24		32		10		33										75	75
25															0	0	0
26		13	1	422		215						22		2084	1	2756	2757
27		5		97		112		25						18	0	257	257
28		25		22												47	47
29															0	0	0
30		5		11		25								15		56	56
R1		1		2				16				3		28		50	50
2		1		12		1						17		6		37	37
3				62		1						3		30		96	96
4			2	20		5									2	25	27
合計	31	301	192	1535	75	917	1	48	0	1	1	67	1	2640	301	5509	5810

令和5年3月31日現在
寄託作品　1,783点

購入・寄贈・寄託計　7,593点

(3)令和5年度　広報活動と反響

生誕120年　大沢昌助展

令和5年4月29日～6月18日

＜新聞＞

【記事】

毎日新聞　4月19日
東洋経済日報　4月21日
陸奥新報　5月7日
産経新聞　5月20日
朝日新聞夕刊　5月23日
毎日新聞夕刊　6月12日

【一覧】

毎日新聞　4月21日、28日
　　5月12日、19日、26日
　　6月2日、9日、16日
朝日新聞夕刊　4月25日、5月23日
　　6月6日、13日
東京新聞　5月3日
読売新聞　5月26日

＜雑誌＞

一枚の繪　4・5月号
美術展ナビBook2023
月刊美術　4月20日
美術の窓　5月号
新美術新聞　5月1日
美じょん新報　第284号
懸賞なび　5月号
月刊ブレーン　6月号
月刊江戸楽　6月号
婦人画報　7月号

＜会員誌、フリーペーパー等＞

かるがも便り　83号
月刊kacce　4月号
船橋よみうり新聞　5月13日

＜ＷＥＢ＞

アートアジェンダ
G-Call
Fashion Press
Sfumart
MIRAI～ちょっと先のミライを探しに行こう
Ｍ＆Ｃ
Padograph
週刊じゃらん
埼玉新聞(Web記事)
共同通信
美術展ナビ
東京ウオッチ
あるくあるけるMAP＆NEWS
Tokyo Live＆Exhibits
Tokyo Art Beat
ぴあポイントサイト
ウェブ版美術手帖
ウォーカープラス

＜その他＞
ねりま区報　4月11日号
JCOMチャンネル（地デジ11チャンネル）データ放送　4月11日～
練馬区公式Twitter
練馬区公式LINE
練馬区公式ホームページ
練馬区多文化Facebook
練馬区役所庁舎内等モニター広告
貫井図書館だより　5月号

＜広告＞
TikTok広告　　6月7日～6月17日

練馬区立美術館コレクション＋　植物と歩く

令和5年7月2日～8月25日

＜新聞＞

【記事】
足立朝日　6月5日
東洋経済日報　6月23日
毎日新聞遊ナビ　7月21日
しんぶん赤旗　8月11日

【一覧】
毎日新聞　美術館ガイド　6月23日、30日
7月7日、14日、21日、28日
8月4日、11日、18日、25日
朝日新聞夕刊　一覧　6月27日

＜雑誌＞
懸賞なび　5月22日
江戸楽　6月20日、7月20日
『住む。』　6月21日
家庭画報　7月1日
産業新潮　7月1日
アートの旅　7月1日
MOE　7月3日
anan　7月5日

＜会員誌、フリーペーパー等＞

季刊草月 6月1日

情報誌ARIFT　6月16日

情報紙プレステン　6月30日

いけ花龍生　7月1日

＜ＷＥＢ＞

Sfumart	美術展ナビ
Padograph	インテリア情報サイト
アートアジェンダ	MIRAI～ちょっと先のミライを探しに行こう
大人のカルチャーガイド	ウォーカープラス
個展なび	ぴあ
G-Call	Tokyo Live&Exhibits
ウェブ版美術手帖	ぴあポイントサイト
Fashion Press	anan（web版）
いまトピ	週刊じゃらん

＜その他＞

Tokyo Art Beat ミューぽん　6月21日

ねりま区報　6月11日号

JCOMチャンネル（地デジ11チャンネル）データ放送　6月21日～

練馬区公式ホームページ

練馬区役所庁舎内等モニター広告

練馬区公式Twitter

練馬区公式LINE

貫井図書館だより　7月号

牧野記念庭園クイズシート

西武HDメールマガジン　8月3日

練馬区公式Facebook

練馬区多文化Facebook

＜広告＞

宇川直宏展　FINAL MEDIA THERAPIST @DOMMUNE

令和５年９月 10 日～11 月５日

＜新聞＞

【記事】

東洋経済日報　８月 11 日

読売新聞夕刊　11 月４日

【一覧】

新美術新聞　８月 15 日

東京新聞　９月６日

朝日新聞　９月５日

＜雑誌＞

週刊大衆　７月 31 日

懸賞なび　８月 22 日

アートコレクターズ　８月 25 日

Pen　８月 28 日

カーサブルータス　９月８日

婦人画報　９月 22 日

月刊ブレーン　10 月１日

＜会員誌、フリーペーパー等＞

＜ＷＥＢ＞

アートアジェンダ

G-Call

Sfumart

Padograph

MIRAI ～ちょっと先のミライを探しに行こう

Tokyo Live&Exhibits

個展なび

美術展ナビ

FASHIONSNAP

ウェブ版美術手帖

CINRA

qetic

natalie

AVYSS

FNMNL

mdnt

BARKS

TOKION

WIRED

タイムアウト東京

ぴあアプリ

カルチャーメディア「NiEW」

日本美術倶楽部

デザイン情報サイト「JDN」

-oid

ウォーカープラス

＜その他＞
ねりま区報　8 月 21 日号
練馬区公式ホームページ
練馬区役所庁舎内等モニター広告
練馬区多文化 Facebook
練馬区公式Ｘ（旧 Twitter）
練馬区公式 LINE
貫井図書館パスファインダー 9 月
貫井図書館だより 9 月号
POST FAKE 12 月 5 日、12 日、19 日 TOKYO MX

＜広告＞
SNS 広告（Facebook、Instagram、X(旧 Twitter)）9 月 8 日～16 日、9 月 26 日～10 月 12 日

生誕 120 年　古賀忠雄展　塑造（像）の楽しみ

令和 5 年 11 月 17 日～令和 6 年 2 月 25 日

＜新聞＞

【記事】
北海道新聞 8 月 27 日
公明新聞　12 月 13 日
東京新聞　1 月 31 日

【一覧】
朝日新聞　11 月 14 日
毎日新聞　11 月 10 日、17 日、24 日
12 月 1 日、8 日、15 日、22 日、29 日
1 月 12 日、19 日、26 日

＜雑誌＞
月刊美術　10 月 19 日
新美術新聞　10 月 25 日
美術の窓　11 月 20 日
文化展望　11 月 15 日
BM 美術の杜　12 月 20 日
月刊江戸楽　12 月 20 日
エール新春号　12 月 28 日
Gallery　Guide　Book　1 月 15 日
週刊文春　1 月 25 日

＜会員誌、フリーペーパー等＞
さが婦人会報
ARIFT　1 月 19 日

＜ＷＥＢ＞	
ウォーカープラス	Padograph
アートアジェンダ	MIRAI ～ちょっと先のミライを探しに行こう
個展なび	ぴあ WEB／アプリ
Sfumart	GOTOKYO
Fashion Press	Tokyo Live&Exhibits
＜その他＞	
貫井図書館だより 11 月号	
貫井図書館パスファインダー	
ねりま区報　11 月 11 日号	
練馬区公式ホームページ	
JCOM チャンネル（地デジ 11 チャンネル）データ放送　11 月 11 日～	
練馬区役所庁舎内等モニター広告	
練馬区公式Ｘ（旧 Twitter）	
練馬区公式 LINE	
＜広告＞	

生誕 150 年　池上秀畝展　－高精細画人―

令和 6 年 3 月 16 日～4 月 21 日

＜新聞＞	
【記事】	**【一覧】**
＜雑誌＞	
＜会員誌・フリーペーパー等＞	
タウン情報誌「あだち百景」1 月 20 日	情報紙プレステン 1 月 27 日、31 日
＜ＷＥＢ＞	
Fashion Press	Sfumart
個展なび	Padograph
アートアジェンダ	MIRAI ～ちょっと先のミライを探しに行こう
G-Call	ウォーカープラス
＜その他＞	
＜広告＞	

令和６年２月19日
区民生活委員会、文教児童青少年委員会　資料

令和６年２月 19 日
地域文化部美術館再整備担当課
教育振興部光が丘図書館

練馬区立美術館・貫井図書館改築等基本設計の概要について

美術館・貫井図書館および美術の森緑地については、「美術館再整備基本構想」および「これからの図書館構想」に基づき、令和４年度から５年度にかけて基本設計を㈱平田晃久建築設計事務所に委託し、進めてきたところである。

このたび、美術館・貫井図書館改築および美術の森緑地改修に係る基本設計が完了したため、その概要について下記のとおり報告する。

記

１　設計方針

⑴ 年齢や障害に関わらず、誰もが美術館・図書館、美術の森緑地を一体的に利用できるようユニバーサルデザイン設計を導入する。

⑵ 美術館と図書館の従来の基本的機能を維持したうえで、機能的・空間的に融合し、互いの特徴を活かしたイベント等が展開できる機能空間を創出する。

⑶ 環境に配慮するため、ZEB　Ready（一次エネルギー消費量 50％以上削減）を目指し、建物の省エネ化を図る。

⑷ 中村橋駅や商店街、所々に設けられたアートスポットが連なる大きな回遊路（アート・コミュニケーション・コリドー）の一部として位置付け、まちと一体となった美術館・図書館として、まちに開かれた建物とする。

⑸ 美術の森緑地はパブリックスペースとして、既存の屋外彫刻群を活かしたまちとつながる公園空間とする。

２　設計概要

⑴美術館・図書館

構　　造：鉄筋コンクリート造　一部鉄骨造（地上５階、地下１階建て）
敷地面積：約 4,090 ㎡
建築面積：約 3,270 ㎡

延床面積：約 8,600 ㎡
美術館ゾーン：約 3,300 ㎡
図書館ゾーン：約 1,300 ㎡
共　用ゾーン：約 2,700 ㎡
管　理ゾーン：約 1,300 ㎡
計画諸室：収蔵庫、展示室、区民ギャラリー、創作室、開架書架、閉架書庫、グループ学習室、ブック・アート・キッズスペース、対面朗読室、多目的室、カフェ等

⑵美術の森緑地
敷地面積：約 1,890 ㎡

３　配置図等

別紙のとおり

４　概算工事費

美術館・図書館改築概算工事費　約８９．８億円
美術の森緑地改修概算工事費　　約　１．５億円

５　スケジュール（予定）

令和５年度　　実施設計着手
令和７年度　　実施設計完了
　　工事着工
令和 10 年度　　工事竣工
　　開館

６　周知

⑴ 基本設計概要の区ホームページ掲載
⑵ 基本設計概要パネル展の開催
ア　日時
令和６年３月 16 日（土）13：00 ～ 18：00
３月 17 日（日）10：00 ～ 18：00
３月 19 日（火）10：00 ～ 18：00
イ　会場
美術館区民ギャラリー
ウ　周知
ねりま区報（３月１日号)、ホームページ

■配置計画

別紙

1)配置計画について

①明確に分離した動線計画

・南北にそれぞれエントランスを設けて、利用者が迷うことなく入館できる配置とする。

・西側に職員用動線・搬入動線を振り分けて、歩車分離を明確にし、利用者の安全性に配慮する。

②近隣に配慮した植栽計画

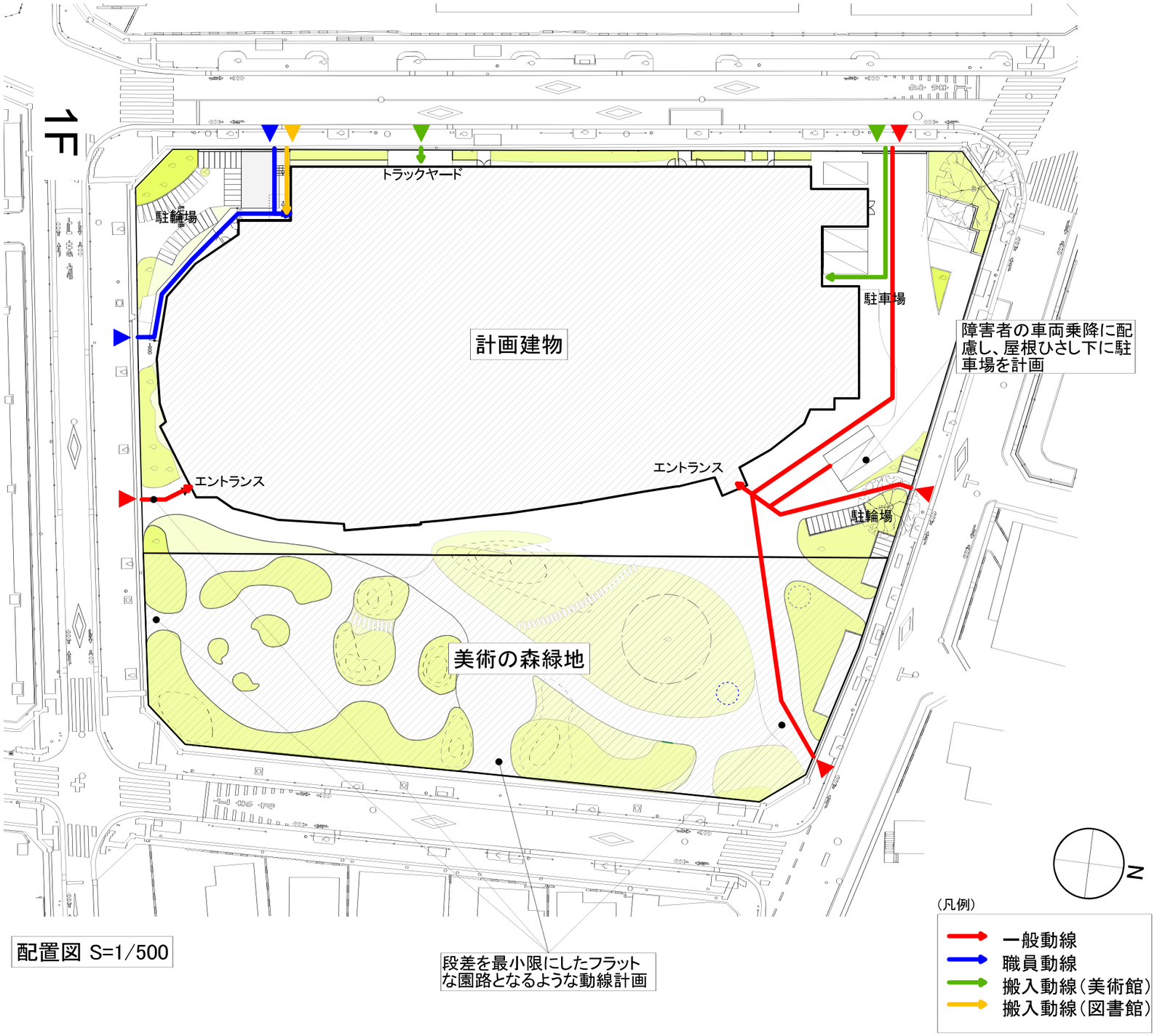
・近隣建物に配慮し、各敷地境界に緩衝帯として植栽を整備する。

③美術館・図書館と緑地の一体的整備

・美術館・図書館と美術の森緑地を一体的に利用できるようにするために、敷地東側の境界は緑地と広場が横断するような計画とする。

④利用者の動線計画

・館内、屋外を含めた全ての利用者ゾーンに段差なしでアクセスが可能な計画とする。

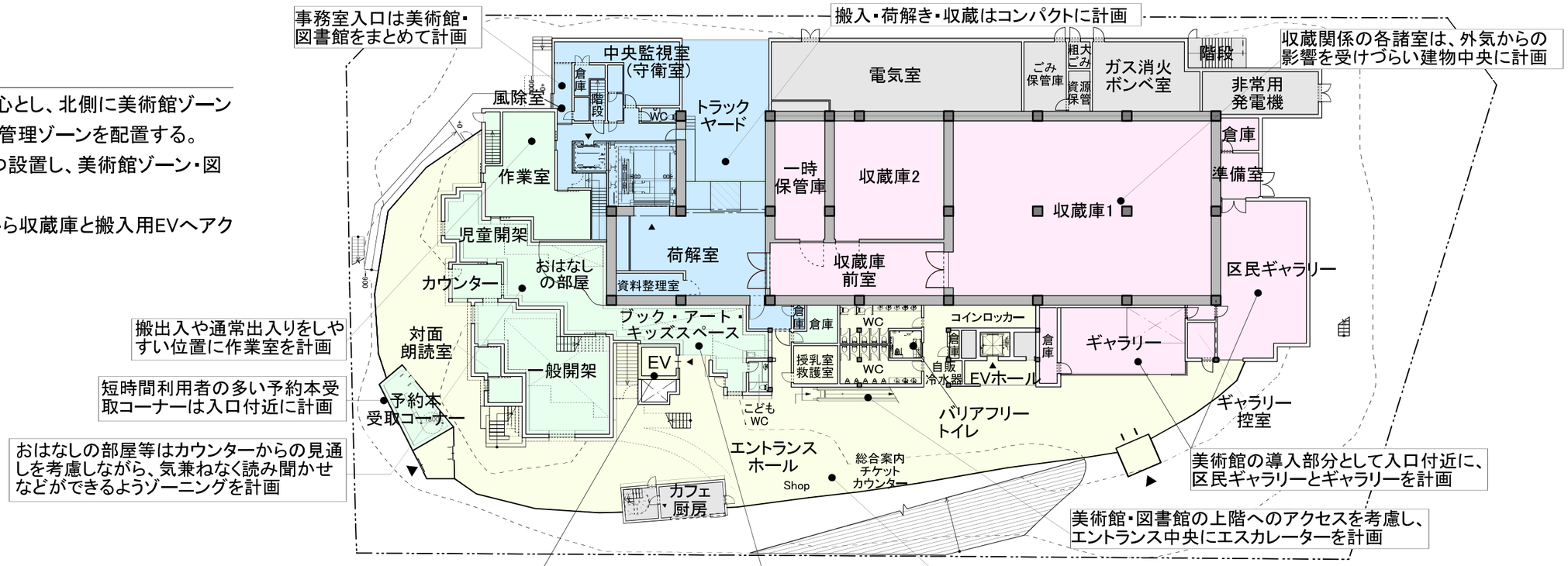


配置図 S=1/500

■平面計画

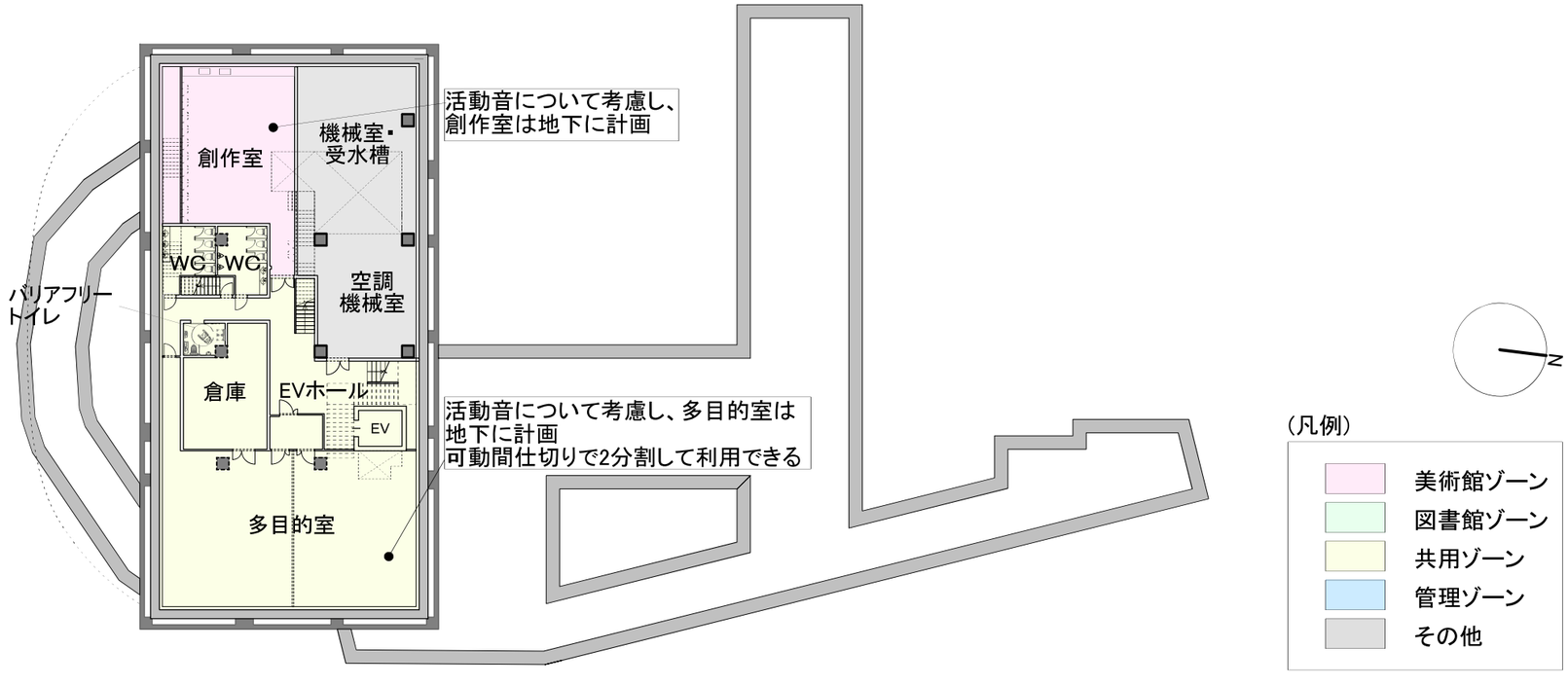
1階平面計画

・1階はエントランスホールを中心とし、北側に美術館ゾーン、南側に図書館ゾーン、西側に管理ゾーンを配置する。
・南北に来館者用EVを一台ずつ設置し、美術館ゾーン・図書館ゾーンの移動に利用する。
・搬入は西側のトラックヤードから収蔵庫と搬入用EVへアクセスし易い計画とする。



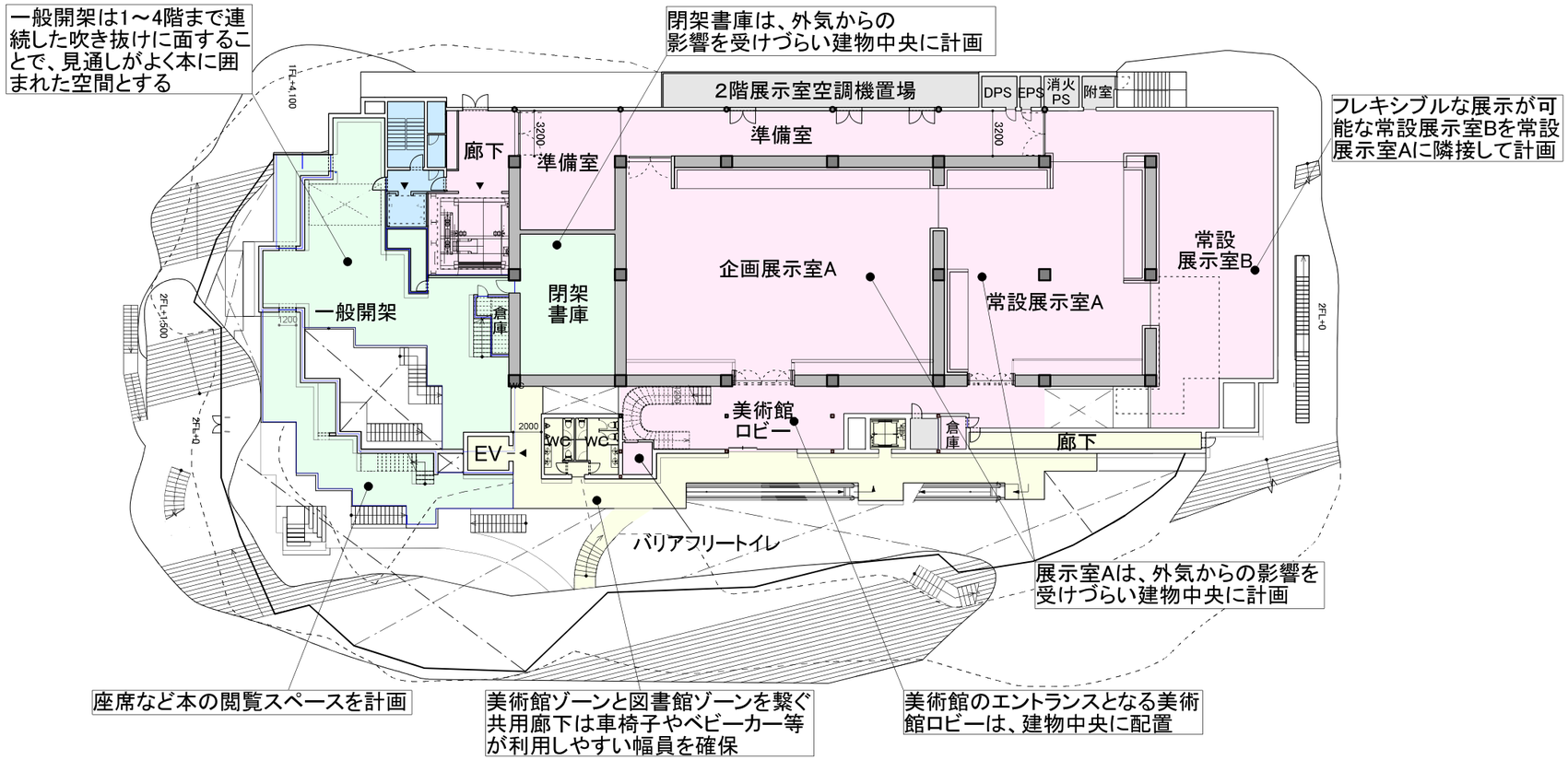
B1階平面計画

・B1階は、活動音について考慮し、多目的室と創作室を配置する。
・既存建物の地階を再利用することで、コスト・環境に配慮した計画とする。



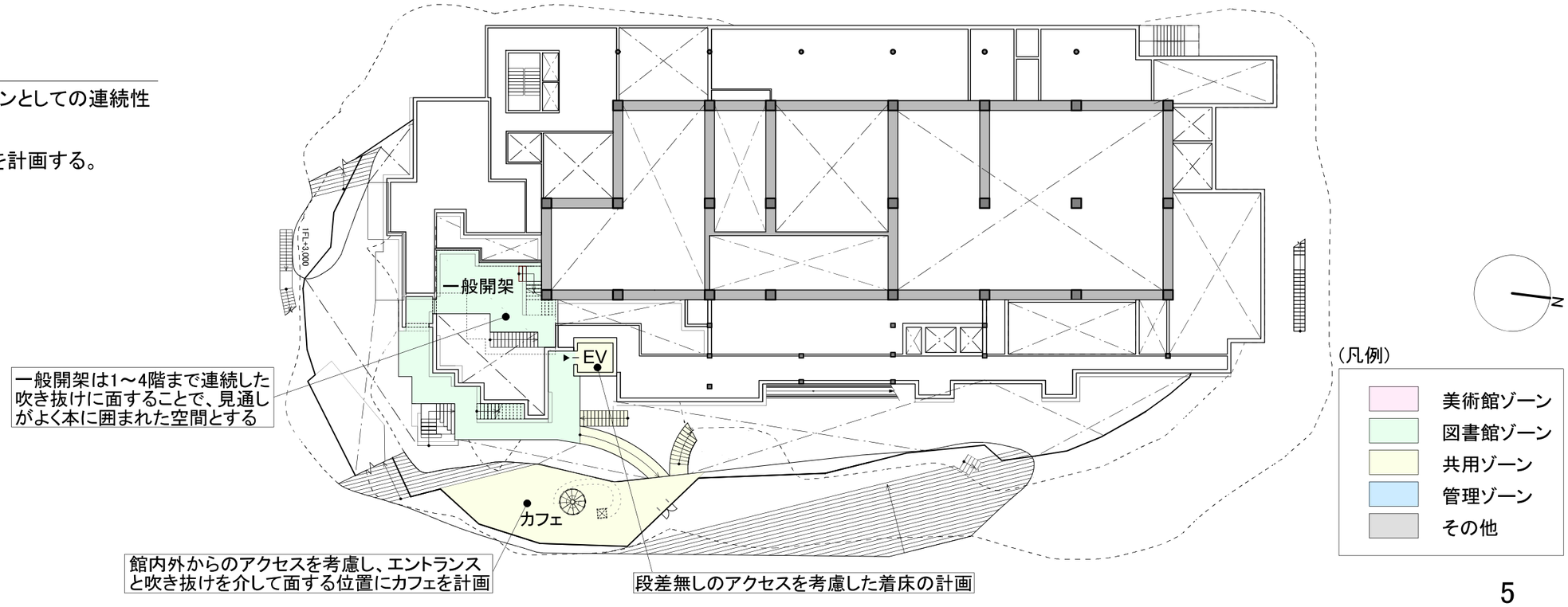
2階平面計画

・1階と同様に、北側に美術館ゾーン、南側に図書館ゾーンを配置する。
・南北を繋ぐ廊下は美術館ゾーン・図書館ゾーンを行き来する動線だけでなく、廊下沿いの棚を活用できる計画とする。
・南北に来館者用EVを一台ずつ設置し、美術館ゾーン・図書館ゾーンの移動に利用する。
・北側のエスカレーターは2階中央付近に着床する位置に計画。
・2階の展示室は2つの常設展示室と、1つの企画展示室を計画。
・搬入用EVの乗り降り場から直接各展示室へアクセスし易い計画とする。



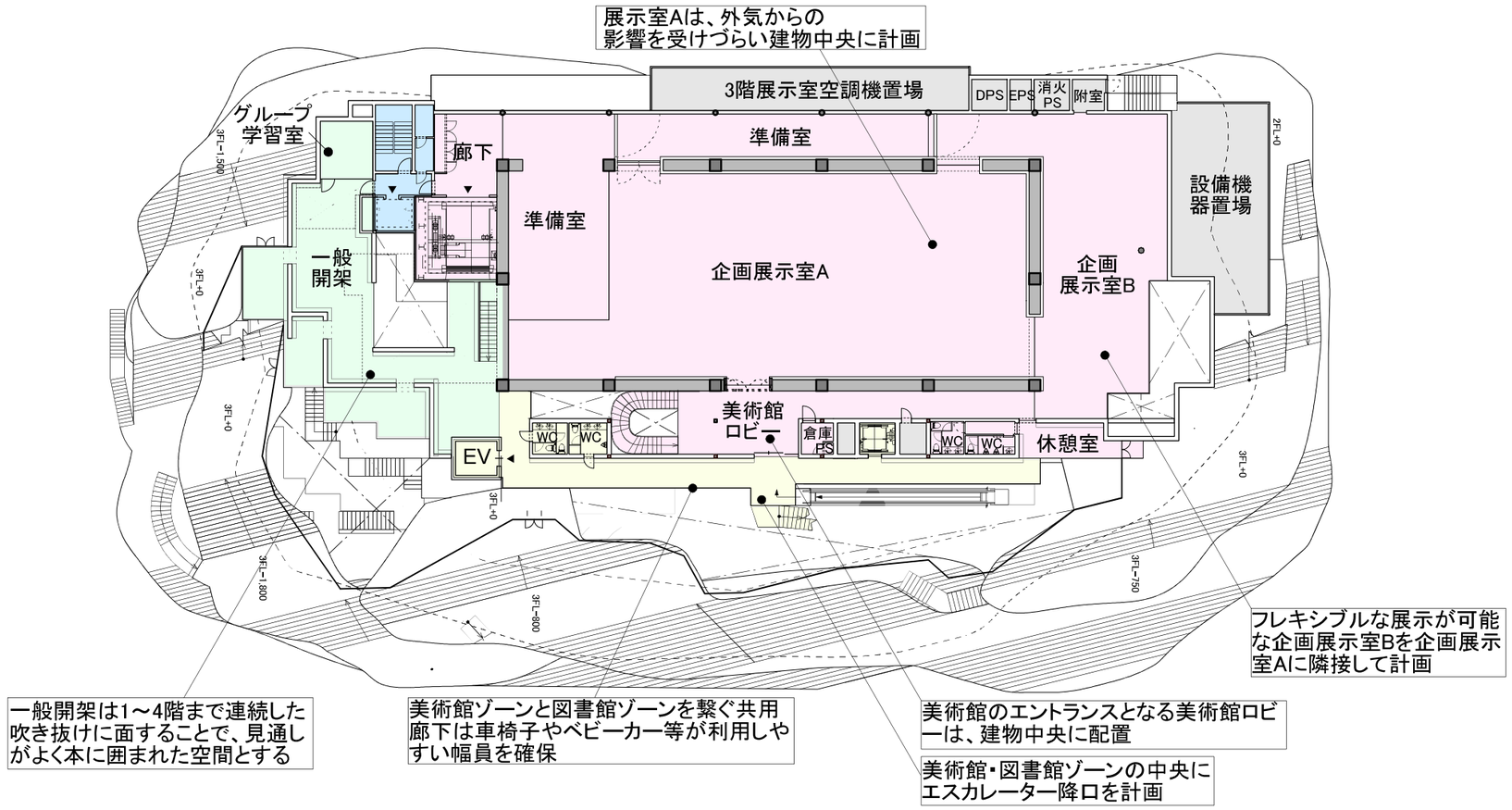
1.5階平面計画

・1階と2階の中間の1.5階は、図書館ゾーンとしての連続性を考慮して開架を計画。
・館内外からのアクセスを考慮し、カフェを計画する。



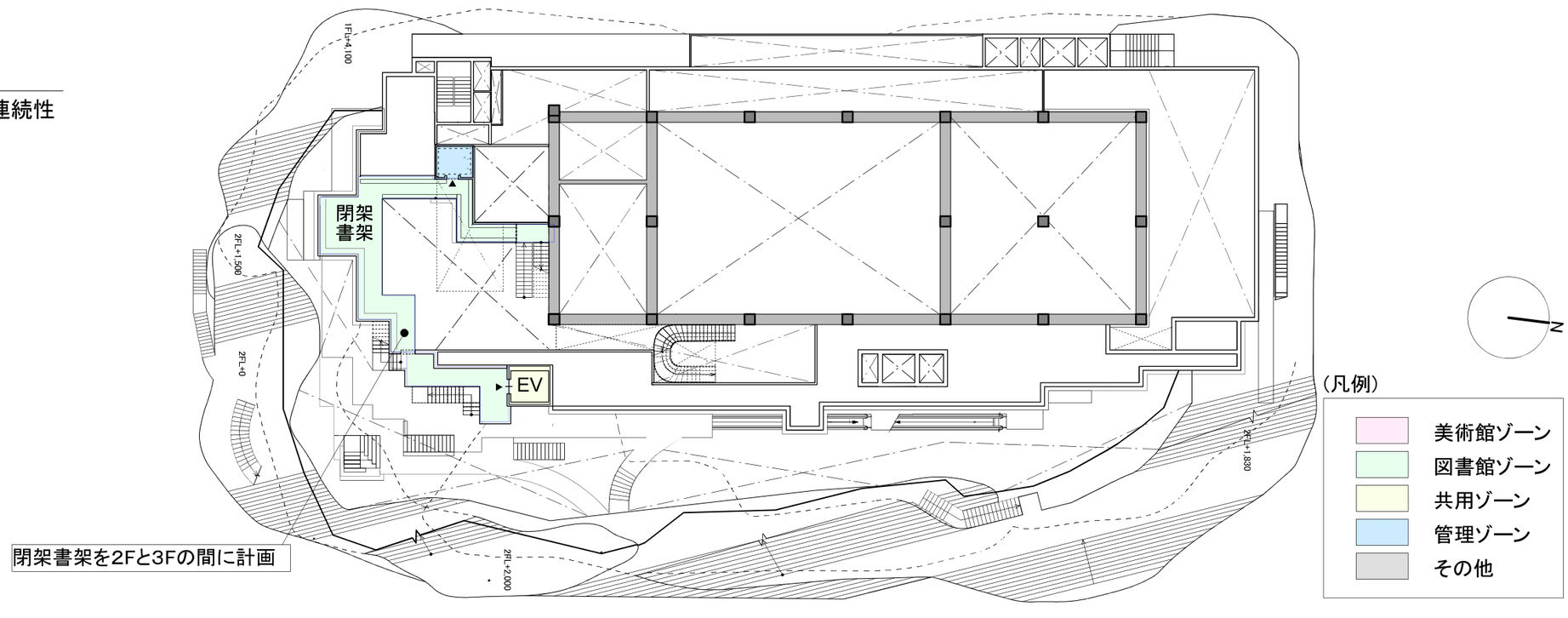
3階平面計画

・1階と同様に、北側に美術館ゾーン、南側に図書館ゾーンを配置する。
・南北を繋ぐ廊下は美術館ゾーン・図書館ゾーンを行き来する動線だけでなく、廊下沿いの棚を活用できる計画とする。
・南北に来館者用EVを一台ずつ設置し、美術館ゾーン・図書館ゾーンの移動に利用する。
・北側のエスカレーターは3階中央付近に着床する位置に計画。
・3階の展示室は2つの企画展示室を計画。
・搬入用EVの乗り降り場から直接各展示室へアクセスし易い計画とする。



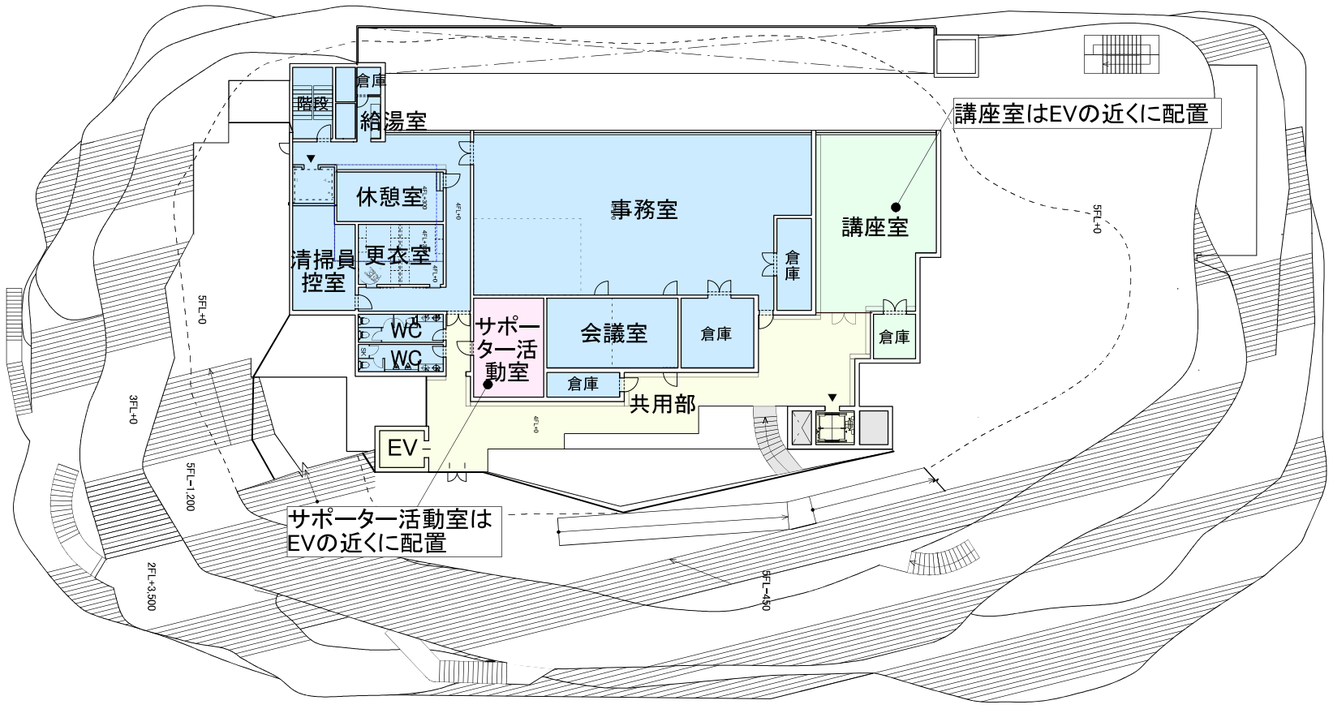
2.5階平面計画

・2階と3階の中間の2.5階は、図書館ゾーンとしての連続性を考慮して閉架書架を計画。



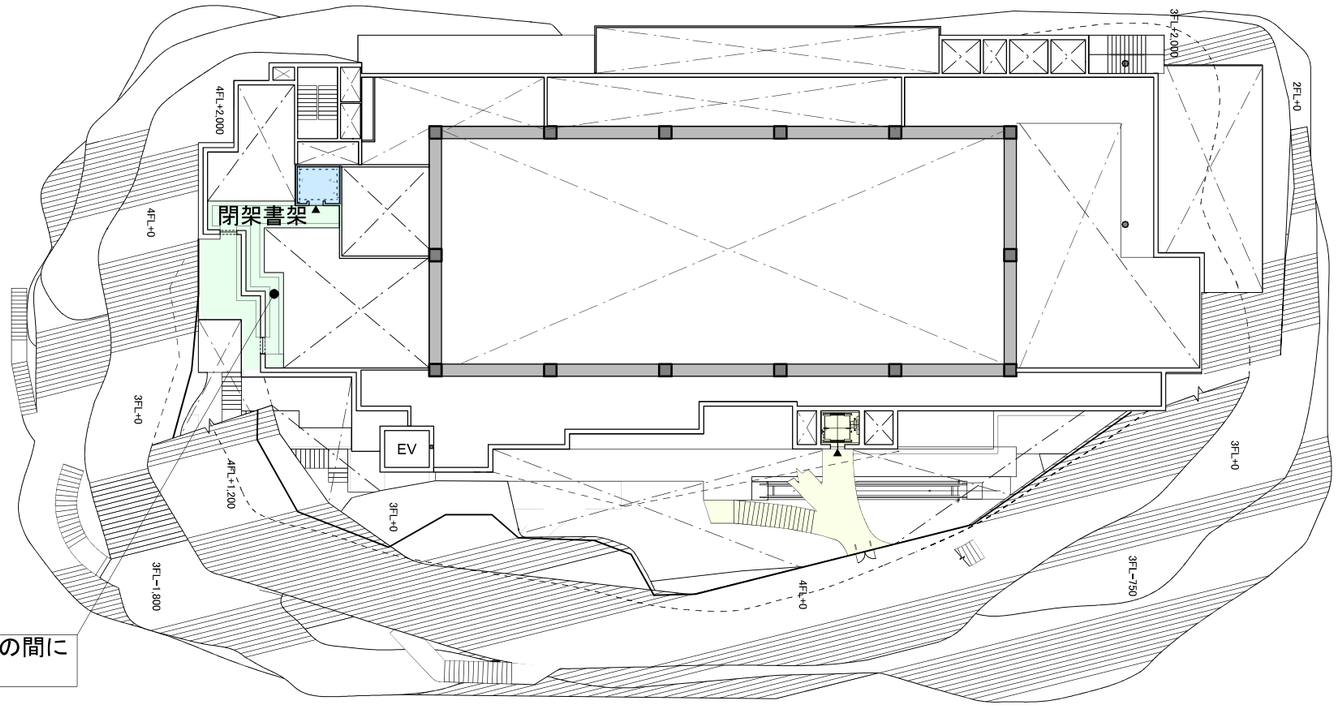
5階平面計画

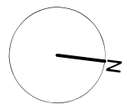
・館全体を見渡し易い最上階には、事務室を中心とした管理諸室を計画。
・館全体の運用計画をしやすいように、美術館事務室と図書館事務室を一体として計画。
・講座室・会議室・サポーター活動室を各EV近くに計画。



4階平面計画

・図書館の内部吹き抜けの最上階には、図書館ゾーンとしての連続性を考慮して閉架書架を計画。



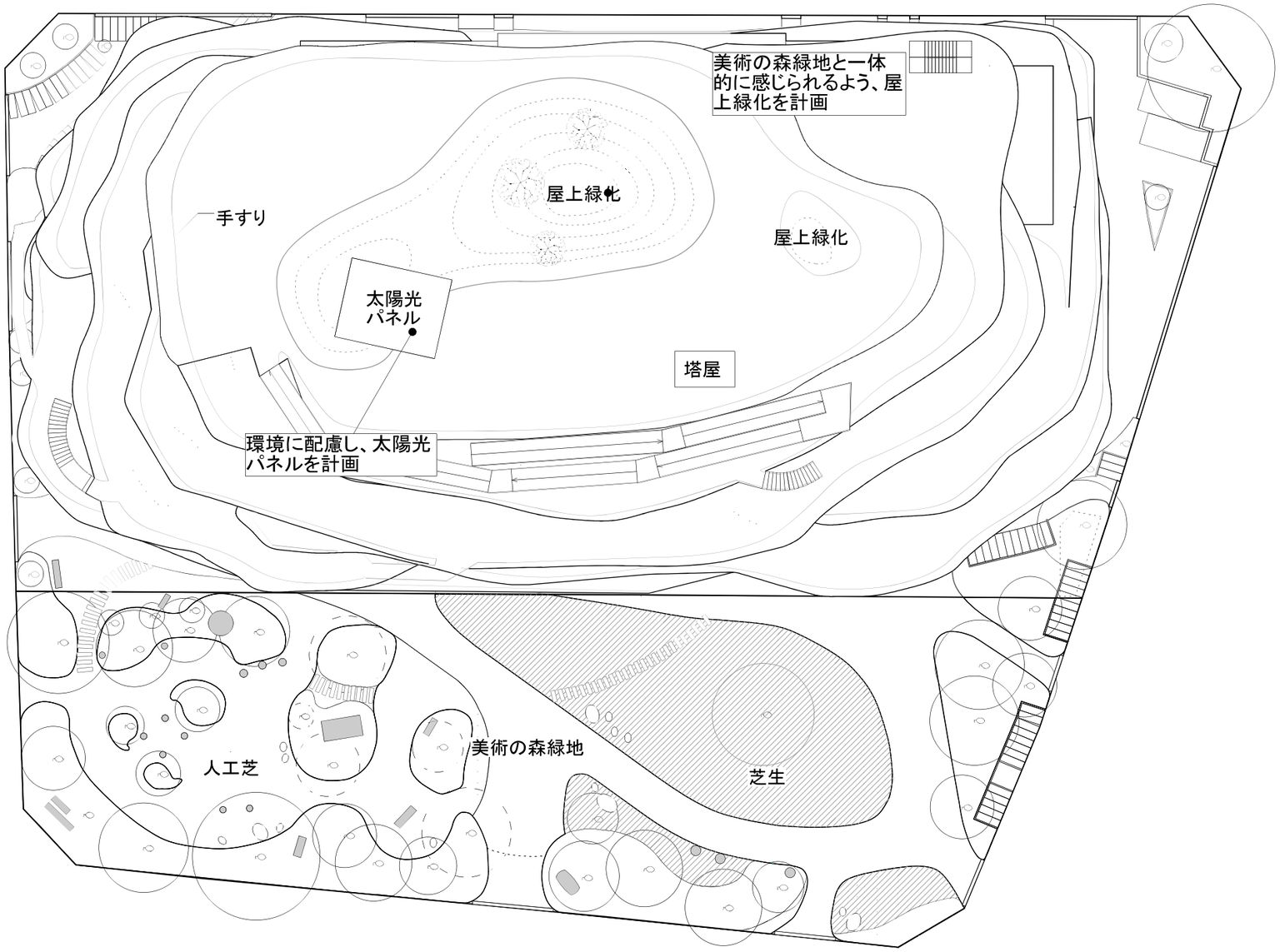


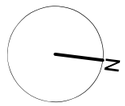
（凡例）

- 美術館ゾーン
- 図書館ゾーン
- 共用ゾーン
- 管理ゾーン
- その他

屋上階・緑地平面計画

・緑地と一体的に感じられるよう、屋上緑化を計画。
・環境に配慮して、太陽光パネルの設置を計画。
・Shade上（屋根）を開放することで緑地と一体的に使用できるように計画。
・既存樹木を活かし、「庭」のような親しみやすい住宅のみどりの延長線上にある緑地とする。
・季節感を楽しめる植栽とする。
・植栽の管理負担を考慮した樹木で構成する。





（凡例）

- 美術館ゾーン
- 図書館ゾーン
- 共用ゾーン
- 管理ゾーン
- その他

■景観計画（立面図）

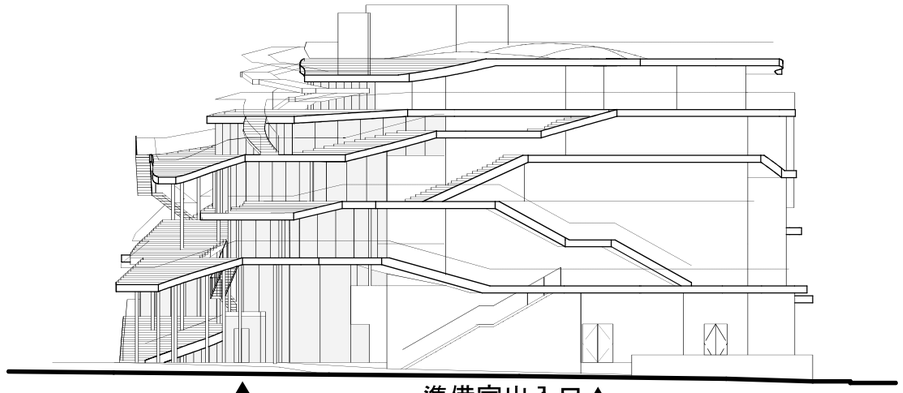
1)景観計画について

・計画地は練馬区景観計画で「街なか住まい景観ゾーン」に位置する。
・景観街づくりの方針「豊かな公園緑地が整備された調和のあるまちなみを形成」に基づき、中高層住宅団地や道路基盤の整った中高層住宅を主とした区域という特性に配慮した計画を行う。
・練馬区景観計画の公共施設の景観整備に基づいた計画を行う。

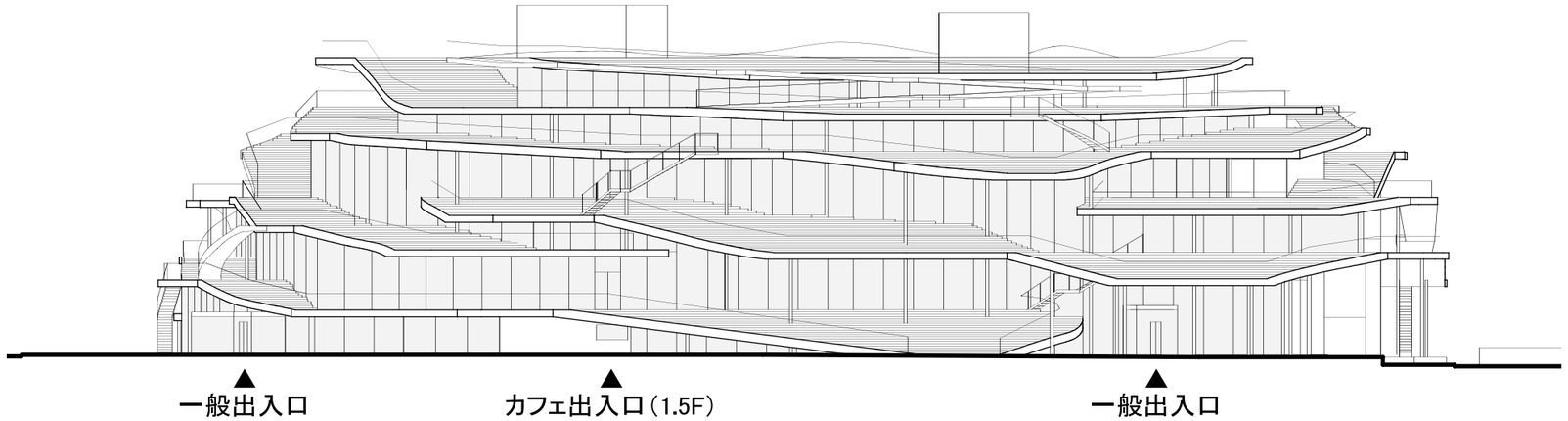
①周辺環境に配慮した景観・外観計画
　・南北に長い敷地に建つため、南北に長くなりがちな建物の両端部を低く抑えることで、近隣への圧迫感や日照に配慮した計画とする。
　・道路境界線沿いには、道路から見える位置に植栽を設け緑に囲まれた景観に寄与する計画とする。
　・駐車場や駐輪場は、目立たないように植栽などを配置する。
　・西側の室外機置場からの騒音に配慮し、防音壁を設置する。
　・北側の室外機置場の周囲には人工木のルーバーを設け、景観に配慮する。

②統一感のある景観・外観計画
　・壁面は多くを木質系外壁を採用し落ち着いた色彩計画とする。

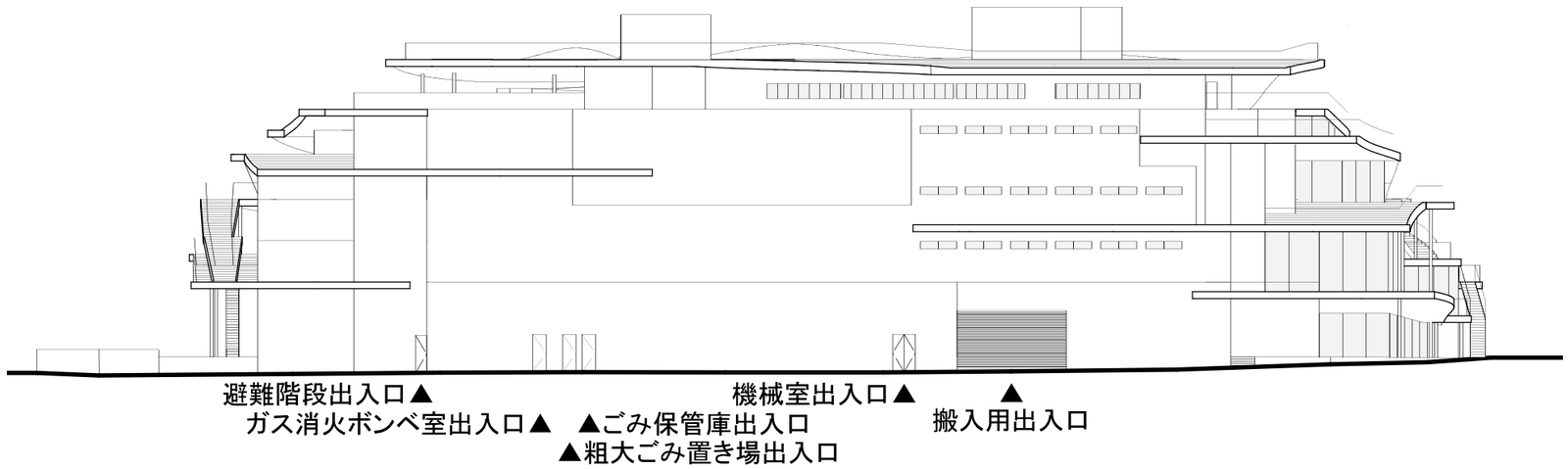
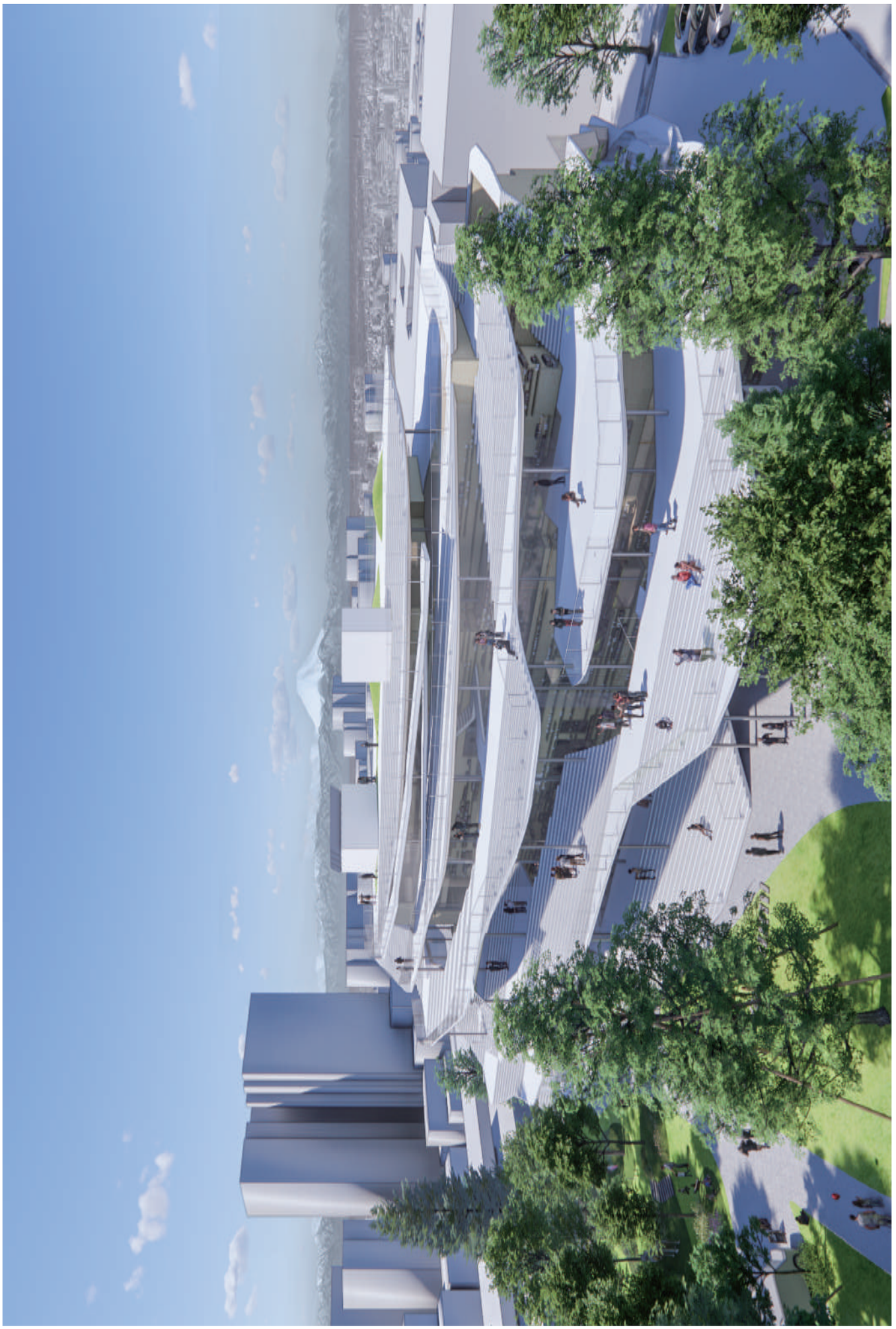
③美術の森緑地と調和する外観計画
　・隣接する美術の森緑地との間に、一体的なオープンスペースや植栽を設けるなど緑地と調和する計画とする。
　・隣接する美術の森緑地に面する外壁はガラス張りとし、連続性を確保する。



北側立面図　S=1/400



東側立面図　S=1/400



西側立面図　S=1/400